

4月のできごと



祭りによさこいを披露する「乱舞！FUJIMIDAI」

満開の桜の下で地域交流

富士見台地区さくら祭り

4月7日 富士見台中の池

富士見台にある3か所の調整池の周りには桜が植えられています。その1つである中の池では、毎年富士見台地区さくら祭りが開催され、ことしで13回目を迎えました。地域の皆さんに楽しんでもらおうと、地区の11団体が焼きそばなどの模擬店を出店しました。店が並んだ祭り会場の真ん中ではよさこいや民謡などの催しが行われ、参加者を喜ばせていました。ちやうど満開になった桜に囲まれながら、多くの人が祭りを楽しましました。



開通セレモニーとして行われたテープカットとくす玉割り

新しい交通路の開通を祝って

新東名高速道路開通式

4月14日 新富士インターチェンジ

新東名高速道路御殿場ジャンクション～三ヶ日ジャンクション間の16.2キロメートルが開通しました。開通日には新富士インターチェンジで開通式が行われ、県知事や市長をはじめ、地元の方々など大勢が出席しました。開通セレモニーでは丘小学校の児童も参加してテープカットとくす玉割りが行われました。その後、参加者が自家用車やバスに乗って通り初めが行われ、道路の走りやすさを実感していました。



希望する企業の説明を熱心に聞く参加者

学生たちと地元企業の出会いの場

富士地区合同企業ガイダンス

4月24日 ふじさんめっせ

来年3月に卒業予定の学生や卒業後3年以内の未就職者を対象に「富士地区合同企業ガイダンス」がふじさんめっせで行われました。このガイダンスは、学生と地元企業との出会いの場を提供するため、3年前から開催しています。ことしは、富士市・富士宮市の企業43社が参加し、昨年を11社も上回りました。参加した就職活動者は約350人。真新しいスーツに身を包んだ参加者は、希望する企業の担当者の話を熱心に聞いていました。